

令和元年度

河北町教育委員会事務事業点検及び評価報告書
(平成30年度分)

河北町教育委員会

(令和元年9月)

目 次

I	教育委員会事務事業の点検及び評価について	1
1	制度の概要及び目的	1
2	点検及び評価の対象事業	1
3	点検及び評価の方法	1
4	学識経験者の知見の活用	1
II	教育委員会の活動状況	2
1	総合教育会議の開催	2
2	教育委員会（協議会）の開催	2
3	教育委員会会議以外の活動	3
4	教育委員の報酬	3
III	施策の体系	4
IV	教育事務評価委員の意見	5
V	点検及び評価対象事業一覧	9
	【点検及び評価の結果（事務事業点検及び評価調書）】	11

I 教育委員会事務事業の点検及び評価について

1 制度の概要及び目的

教育委員会の点検及び評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないことになっています。

また、この点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

この法律を受け、河北町教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに町民に対する説明責任を果たすため、前年度に行った事務事業について、3名の教育事務評価委員の方々の意見をいただきながら点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめました。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の対象事業

点検及び評価は、平成30年度に実施した教育委員会所管の事業のうち、教育振興計画との関連に視点を置き、事業費の額及び町民への周知の必要性等を考慮して選定した主要な事業を対象に実施しています。

3 点検及び評価の方法

各事業について「必要性」、「効率性」及び「有効性」等の観点から総合評価したうえで、今後の方向性として、「拡充」、「継続」、「縮小」、「見直し」及び「休廃止」に区分して明らかにしました。そしてその内容は、事業ごとに「事務事業点検及び評価調書」としてまとめています。

4 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行った点検及び評価についてその客観性を確保するため、令和元年7月12日に3名の学識経験者を教育事務評価委員として委嘱し、点検及び評価の内容について意見をいただきました。

河北町教育事務評価委員

氏 名	役 職 名 等
砂 田 哲	学識経験者
渡 辺 洋子	学識経験者
小 野 俊雄	学識経験者

II 教育委員会の活動状況

1 総合教育会議の開催

開 催 日	協 議 件 名
12月21日	平成31年度教育事業について 外1件
3月27日	河北町教育行政全般の大綱について

2 教育委員会（協議会）の開催

(1) 会議

・委員会	12回	・協議会	1回
・議案	32件	・協議等	27件

開 催 日	区 分	議 案 協 議 件 名
4月26日	委員会	議案 平成30年度準要保護児童生徒の追加認定について
		協議等 小学校の将来を考える会について 外3件
5月24日	協議会	協議等 河北町民プールについて 外1件
6月28日	委員会	議案 河北町学校給食センター運営協議会委員の委嘱についての専決処分について 外2件
		協議等 土曜教室について 外2件
7月26日	委員会	議案 平成31年度使用教科書採択について
		協議等 英会話等推進事業計画（案）について 外2件
8月23日	委員会	議案 河北町指定文化財の指定解除に係る諮問について
		協議等 学校施設関連事業の進捗状況と9月補正について
9月20日	委員会	議案 英会話等推進事業計画（案）について 外1件
		協議等 河北町教育委員について 外2件
10月25日	委員会	議案 河北町指定文化財の指定解除について 外1件
		協議等 小中学校のエアコン導入について 外1件
11月22日	委員会	議案 平成30年度準要保護児童の追加認定について
		協議等 12月定例議会の審議案件について

12月21日	委員会	議案	河北町人材育成奨励金給付の対象者について
		協議等	中学校の完全給食について 外2件
1月24日	委員会	議案	河北町立河北中学校部活動指導員設置要綱の設定について 外2件
		協議等	学校施設関連事業の進捗状況について
2月21日	委員会	議案	平成31年度新入学児童生徒学用品費支給認定について 外9件
		協議等	平成31年度当初予算概要について 外2件
3月7日	委員会	議案	平成31年度河北町立小中学校教職員人事異動内申について 外2件
3月27日	委員会	議案	平成31年度河北町教育委員会事務局職員の異動の承認について 外3件
		協議等	平成31年度教育委員会日程について

3 教育委員会会議以外の活動

(1) 学校訪問

実施日	実施校	実施日	実施校
6月11日	北谷地小学校	11月1日	西里小学校
6月14日	溝延小学校	11月10日	谷地中部小学校
6月15日	谷地西部小学校	11月21日	谷地南部小学校
6月22日	河北中学校		

(2) その他会議・式典参加等

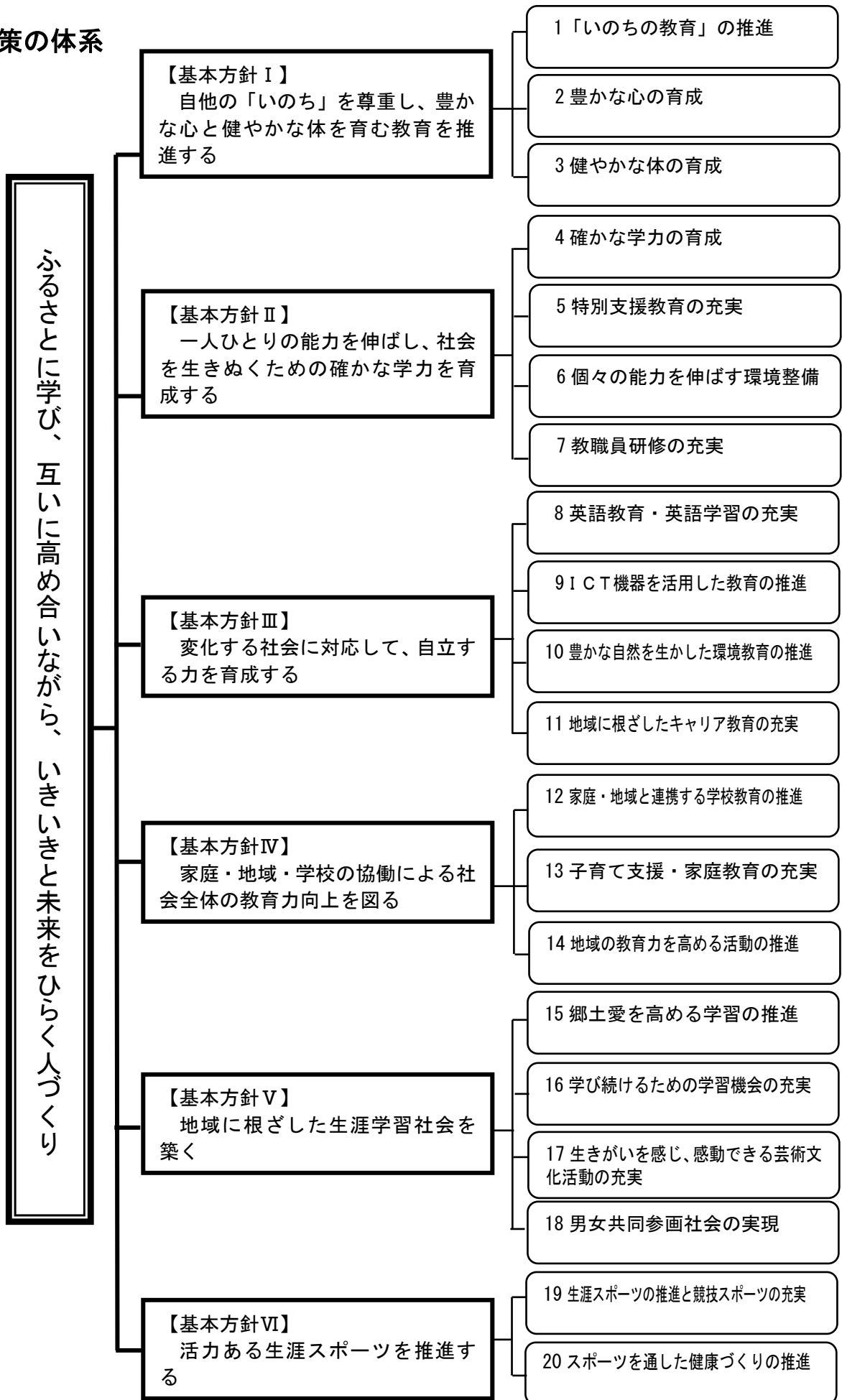
(7) 西村山市町教育委員会連絡協議会、山形県市町村教育委員大会

(イ) 辞令交付式、小中学校入学式・卒業式、小学校陸上競技大会、小学校水泳大会、小中学校音楽会、成人式等

4 教育委員の報酬

(年) 243,000円

III 施策の体系



IV 教育事務評価委員の意見

全国的に少子化現象が続き、小中高いずれも学校統廃合が進行しています。小学校については、将来の進路選択の基礎づくりや、子どもたちの多様な世界観を育むことが大切であります。少人数指導の効果も確かにありますが、運動や学習活動に支障が起こるのも事実であります。複式の教員の負担の大きさも懸念されます。地域の大人の目線だけでなく、適正規模としての再編成を考える時期に来ているのではないのでしょうか。地域の歴史文化に関する学習、町の施設を利用した学習をぜひ継続し支援を続けていただきたいと思います。

河北町の学校教育は、住民の教育に対する熱い思いに支えられ、現代の教育課題に対応しながら、特色ある学校づくりを展開することにより、子どもたちは、落ち着いて学習に取り組んでおり、成果が上がっていると感じます。特に、地域の人材を活用した学習をとおして、地域を愛する心を養い、将来の河北町を担う子どもの育成になっています。

昨今いじめに関する認識度が高くなってきており、スクールカウンセラーや教育相談員の対応は今後も重要であります。何といたっても担任との日常の関わりが大事であり、保護者との連携を密にし、望ましい人間性・人間関係の育成に心がけ、職員間の共通理解が持てるような指導や研修が必要と思われまます。

生涯学習の面では、文化の町「河北」として、素晴らしい伝統ある活動と新しい取り組みがなされております。反面、本町に限らず、「地域づくり」が弱くなってきており、婦人会や青年団などの地縁集団が無くなっている地域が少なくありません。お互いに助け合いながら住みよい地域をどう形成していくか、そのために何ができるかを考える集団を形作る優れたリーダーの養成が必要であると考えます。

「山寺が支えた紅花文化」が日本遺産に認定され、町の歴史をあらためて意識した人が多く、紅花資料館や旧安部家住宅等の見学者がさらに増えることを願っております。

しかしながら、「紅花の町」という割には、紅花が見学できるのは資料館のほか数か所くらいで、栽培や管理が難しいのかもしれないかもしれませんが、もっと親しめるようになればいい、という声も聞かれます。

町の郷土研究会等熱心な団体による活動が続いており、町の歴史講座も好評のようです。文化財の保護、管理も容易ではないと思いますが、PR活動も含め、郷土愛を高めるため、支援を続けていただきたいと思います。

また、昨年、斎藤茂吉文化賞を受賞した野鳥写真家の真木広造氏は、矢作春樹氏に続く受賞で大変誇りに思います。

1 学校教育

- (1) 児童生徒は、パソコンに依存していかなければなりませんので学習用パソコンの更なる充実を図っていただきたいと思います。
- (2) 英語は、言語を異にする人々と意思・思想を伝達し合う道具として、身につけることが大切です。日本の将来を背負って立つ児童生徒に、英語指導の充実を図っていただきたいと思います。
- (3) スクールカウンセラーや教育相談員等の配置により、少しでも不登校の児童生徒数を減らすように、継続した取り組みが必要であると思われまます。

いじめ問題や、児童生徒の登下校時の安全確保等は、家庭、学校、地域、関係機関、団体等が連携・協力して、引き続き、児童生徒を見守っていく必要があると思われます。

- (4) 最近の教育の大きな課題の一つに、発達障害の子どもの増加があります。多動的な子どもについては、担任一人では対応できません。様々な症状がありますので、その子どもに応じた指導ができる学習生活指導補助員を配置する必要があります。各学校が必要とする補助員の質と数を充実しなければならないと思います。
- (5) 地域の職場での就労体験や、県外での本町出身者の職場訪問をすることは、本人にとって貴重な体験になり、自分の親の仕事への理解と感謝も深まるのではないのでしょうか。特に、修学旅行での取り組みは、将来に向けた取り組みとして非常に大切であり、素晴らしいと思います。
- (6) 児童生徒が登下校中に大きな声であいさつをしてくれます。高校生になってもあいさつをしてくれます。学校、家庭、地域が連携して子どもを育てている証であると考えます。登下校中の安全確保のために、老人クラブを中心に「子ども見守り隊」が組織され活動されている地域もありますが、河北町内全域でその活動を展開していく必要を感じます。
- (7) 谷地高等学校は、町唯一の高等学校であり、地域に密着した学校づくりを進めるため、近隣地区の区長とPTA役員と生徒会役員との懇談会の開催や、谷地高祭の開催の折には、案内状と、生徒会が運営する売店の割引券を事前に近隣地区に全戸に配布されています。また、カヌー部の活躍は、町民に感動と勇気と元気をいただき、さらに、ボランティアで独居老人宅の除雪作業を行っていただき、感謝しております。
- (8) 家庭や学校における食育の推進、伝統的な食文化の伝承、生産者と消費者の交流促進などを目的とした、食育基本法に基づき、町産食材の使用率をどんどん増やしてほしいと思います。また、食の安全確保のため、各種検査を今後も継続拡充させてほしいと思います。さらに、食物アレルギーの発症数の多い、エビ、カニ、小麦、卵、乳の5品目と、生命にかかわる特に留意が必要なものとして、ソバ、ラッカセイの2品目、合計7品目が食品衛生法施行規則で「特定原材料」として表示するところが義務づけられています。その他、アワビ、イクラなど18品目は、表示を奨励することになっております。先の7品目とあわせ、25品目が原材料を表示すべき「特定原材料等」とされております。このようなことから、アレルギー体質への児童生徒には、命に関わることもありますので、綿密に両親等と相談しながら、それぞれの体質に応じた、適切な対応を今後も図っていく必要があると思います。

2 生涯学習

- (1) 農業環境改善施設の利用人数等は、少子高齢化のため、減少傾向になるのは、当然と思われると思います。施設の維持管理のため、工事、修繕等を財政計画に計上し、利用者の目線での運営と安全確保に努めてほしいと思います。
- (2) 学校支援地域本部事業は、素晴らしい事業であり、児童生徒に対してあらゆる方面からの支援継続が望まれます。個々人の活動が多様化し組織に加わることを好まない傾向の中で、青年団、婦人会等、組織人数が減り、高齢化で存続が危ぶまれている地区もでています。多くの人々が家庭、学校、地域の活動に関心を持つような働きかけが必要と思われると思います。

- (3) 成人式・はたちのつどい事業は、実行委員の方々は、諸準備等で大変だと思いますが、一生に一度の晴れ舞台を演出していただき、本当にありがとうございます。

将来の河北町を担う若者である高校生ボランティア「ピエロ」、中学生「ピエロちび」、そして、青年団を大事にするべきと考えます。団員数の確保、増員をする取り組みや奉仕活動だけではなく、住みやすい地域を考える活動を大事にしていきたいと思えます。また、すべての町の取り組みに、若者の出番を考えてほしいと考えます。経験豊富な方々の考えも大切ですが、それよりもっと若者の考えを大切にしていかなないと町の発展はないと思えます。

- (4) 放課後子ども教室推進事業は、子どもに寄り添った事業として、すばらしいと思えます。

少子化と子どもたち同士のかかわりが薄くなっている現状の中で「子どもの居場所づくり事業」をただ単に子どもたちの居場所づくりだけでなく、子どもたちのコミュニケーションの場にしていくという考え方が大事であると考えます。一方で、学校の先生の負担にならないような取り組み方をしていく必要があります。

- (5) ひなカレッジは、実行委員主体の運営で、メニュー内容ともに質の高いすばらしい事業を展開していると思えます。今後も大いに期待しております。

また、各地区公民館の「文化教室」、「大昭大学」、「文芸学級」等も、充実した活動がなされていて、文化の町「河北」であることを強く感じます。特に、それぞれの講座が、誰もがいつでも学べるというまさに生涯学習そのものであると思えます。

- (6) 学習講座は、物づくりだけではなく、それぞれの地区の講師とのふれあいづくりも含まれていると思えます。今後も充実した講座を期待いたします。

地区公民館は、地域活動の拠点になっています。今まで同様、公民館として機能できるように維持、運営していただきたいと思えます。

また、谷地地区の公民館の組織については、河北町の公民館組織の中で、その地域性を考えながら整備をしていく必要があると思えます。

- (7) 以前から活字離れや読書離れが問題視されており、子どもの読書を促すため各学校や図書館で対策がなされているようです。さらに力を入れることで、学力向上にもつながり、豊かな心が生きる力にもつながっていくことが期待されます。各学校に図書館司書の配置によって、子どもたちへの声かけが促され、また、一般の人も町の図書館を利用し易くできるよう、さらに支援していただきたいと思えます。

- (8) 河北町の歴史講座は、誰もが興味を持つ事業であり、今後とも様々な講座を企画立案していただきたいと思えます。

- (9) 町指定文化財、史跡、天然記念物の保護等、文化庁認定の「山寺が支えた紅花文化」にあるように、今後ともそれぞれの推進を図り、それが観光面でもすばらしい素材になると確信しております。

- (10) サハトベに花の利用人数等は、少子高齢化のため減少傾向になるのは当然と思えます。施設の維持管理のため、振興公社と連携を密にして工事、修繕等を財政計画に計上し、利用者の安全確保に努めてほしいと思えます。

全天周劇場をリニューアルしてプラネタリウムを導入したことは、大変良かったと思えます。プラネタリウムは、小学校教育に定期的な活用（夏の星座や冬の星座など）が可能ですので、先生方と連携し、有効的に活用していただきたいと思えます。特に、山

形大学の柴田先生の講座は、是非、定期的に継続するように希望します。

- (11) 宝くじ助成事業は、県内外からの入場者で大盛況であります。本当に素晴らしい事業であると思います。今後も継続していただきたいと思います。
- (12) 県美展河北巡回は、幼児から高齢者まで幅広い世代で、夢と憧れの世界へと導かれます。歴史ある県美展河北巡回を継続していただきたいと思います。文化祭の開催については、発表会を楽しみにしている出展者、参加者等が沢山おりますので、ぜひ、充実した事業展開を期待します。
- (13) 女性・青少年センターの利用者は、どんがホールが開館後、新しい施設へと移動しており、町スポーツ少年団、町体育協会各種目連盟、各種クラブ等に施設の利用拡大の周知をしてはどうでしょうか。
- (14) 交流館遊蔵事業は、屋内運動場、郷土資料館ともに利用人数は落ち着いた感があります。今後も、郷土資料館の展示内容とタッチパネルの充実、そして、屋内運動場の大盛況を期待したいと思います。
- (15) 河北スポーツクラブは、健康づくりにいろいろな方面から進められている現状の中で、お金を出して参加していくという総合型地域スポーツクラブの問題点があります。なかなか住民の意識改革ができない現状なので、当分の間は、行政からの財政、運営の補助が必要であると考えます。

また、キッズダンス、ヨガ等スポ少や体協にかかわらない分野での種目が適当であると考えます。すみわけを考えていくことが大切だと思います。

- (16) 区対抗総合スポーツ交流大会は、町スポーツ推進委員の運営補助で成り立っていると言っても過言ではありません。今後も素晴らしい運営に期待したいと思います。
スポーツ少年団活動は、青少年の健全育成を目的にしており、今後も勝利至上主義に走らないよう指導徹底する必要があると思われま。
- (17) スポーツ少年団の団員数の減少が心配です。スポーツ少年団の活動が保護者の負担になっていないか、活動の内容や回数などを再考し、スポーツ少年団本来のあり方を考えていただき、学校教育と協調しながら、子どもたちの体力づくりや仲間づくりを進めていただきたいと思います。

- (18) 区対抗総合スポーツ交流大会は、参加チーム数よりも、参加区数が増えることが望ましい。人集めは苦勞しますが、それぞれの区長や役員の方々の取り組み方が大事であると思っております。ジュニア駅伝競走大会を通して、将来の西村山地区駅伝、県縦断駅伝競走大会に出場できる選手が出てきてくれることを願いたいと思います。

- (19) べに花卓球大会は、大会日程が限られていることから、参加チームを制限しており、友好試合も取り入れ、試合形式も充実し、卓球の町かほくを大いにアピールできたのではないのでしょうか。

べに花マラソン大会は、県内外からの参加者も多く、谷地ひな祭り、谷地どんが祭りと並ぶ一大イベントだと思っております。このマラソン大会は、ファミリーマラソンとも呼ばれ、参加費よりも参加賞が上回っていると評判です。このマラソン大会を通して、県内外へ河北町の良さを発信できれば、リピーターも増えてくるでしょう。

- (20) 全国大会以上の出場選手への激励金支給や、垂れ幕の掲示で選手を鼓舞できたことは良かったと思います。これらの選手の中から、将来のオリンピックに出場できる選手がでてきてくれることを、大いに期待しております。

V 点検及び評価対象事業一覧

番号	事業名	担当課	評価	備考
1	地域と共にある高校教育への支援	学校教育課	継続	
2	教育相談の充実	学校教育課	継続	
3	健康・安全教育の推進	学校教育課	継続	
4	教育環境の整備	学校教育課	継続	
5	英語教育の強化	学校教育課	継続	
6	教育の質の向上	学校教育課	継続	
7	特別支援教育の充実	学校教育課	継続	
8	キャリア教育の推進	学校教育課	継続	
9	健やかな体の育成	学校教育課	継続	
10	農村環境改善施設事業	生涯学習課	継続	
11	社会教育総務事業	生涯学習課	継続	
12	成人式・はたちのつどい事業	生涯学習課	継続	
13	放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	継続	
14	公民館事業	生涯学習課	継続	
15	地区公民館事業	生涯学習課	継続	
16	図書館事業	生涯学習課	継続	
17	文化財総務事業	生涯学習課	継続	
18	文化財保護事業	生涯学習課	継続	
19	サハトベに花管理事業	生涯学習課	継続	
20	サハトベに花文化事業	生涯学習課	継続	
21	芸術文化振興事業	生涯学習課	継続	
22	女性・青少年センター事業	生涯学習課	継続	
23	交流館遊戯事業	生涯学習課	継続	
24	保健体育総務事業	生涯学習課	継続	
25	体育指導・教室事業	生涯学習課	継続	

26	各種大会開催事業	生涯学習課	継続	
27	べに花関係大会開催事業	生涯学習課	継続	
28	体育施設事業	生涯学習課	継続	
29	スポーツ振興事業	生涯学習課	継続	

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	1 地域と共にある高校教育への支援
-----	-------------------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系 〔教育振興 計画〕	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る
	○家庭・地域と連携する学校教育の推進

予算科目	款	10	教育費
	項	1	教育総務費
	目	1・2	教育委員会費、事務局費

2 事業の概要

事業目的	地域と共にある高校教育への支援
事業内容	(1) 奨学金制度の充実 (2) 教育環境の整備支援 (3) 地域と学校との連携強化

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	820	補正額等	△90	合計	730	決算額	707
-------	-----	------	-----	----	-----	-----	-----

4 事業の実施状況

<p>(1) 河北町育英会に対し、奨学金貸付の借入金利子等の補助金を交付した。</p> <p>(2) 地域に密着した学校づくりを進めるため、山形県立谷地高等学校後援会が行う教育活動等を支援する事業に対して補助金を交付した。</p>

5 事業の評価

<p>(1) 引き続き奨学金制度を運用し、保護者の学費負担軽減に努める。</p> <p>(2) 町唯一の高等学校であり、地域に密着した学校づくりを進めていくため、地域に貢献する教育活動や土日祝日の通学バス運行経費等を支援していく必要がある。</p>
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>地域に密着した学校づくりを進めるため、山形県立谷地高等学校後援会が行う教育活動等を支援する事業に対して補助金を交付して支援していく。</p>

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	2 教育相談の充実
-----	-----------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系 教育振興 計画	II 一人ひとりの能力を伸ばし、社会を生きぬくための確かな学力を育成する O 個々の能力を伸ばす環境整備
--------------------	---

予算科目	款	10	教育費
	項	1	教育総務費
	目	2	事務局費

2 事業の概要

事業目的	教育相談の充実
事業内容	(1) スクールカウンセラーの配置 (2) 教育相談活動の充実 (3) 適応指導教室の指導

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	2,556	補正額等	0	合計	2,556	決算額	2,397
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) 中学校に配置された2人(県費)のスクールカウンセラー(臨床心理士)を活用して、小学校に2人(町費)のスクールカウンセラーを配置した。 (2) 教育相談員2人(町費)を配置して、不登校児童・生徒等への対応を行った (3) 適応指導教室(ゆうゆう教室)に1人の指導員を配置し、児童・生徒への指導を行った。
--

5 事業の評価

(1) スクールカウンセラーが配置継続されており、児童・生徒へのカウンセリング、教職員・保護者への助言・援助等を行い、学校におけるカウンセリング機能の向上に努めた。 (2) 教育相談員は、学校を訪問しながら、別室、適応指導教室での生徒の支援や、家庭訪問の実施等も行った。 (3) 適応指導教室では、個に応じた対応等を行い、別室登校や普通学級復帰へ繋げた。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	ストレスが増えた現代社会における教育相談業務、スクールカウンセラー配置、適応指導教室の設置等は重要で、継続した取り組みが必要である。学校での児童生徒への対応を基本に、保護者との連携を一層密にする必要がある。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	3 健康・安全教育の推進
-----	--------------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系 〔教育振興計画〕	I 自他の「いのち」を尊重し、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する ○「いのちの教育」の推進 ○健やかな体の育成
------------------	--

予算科目	款	10	教育費
	項	1・2・3	教育総務費、小学校費、中学校費
	目	1・2	事務局費、学校管理費

2 事業の概要

事業目的	健康・安全教育の推進
事業内容	(1) 「いのちの教育」の推進 (2) 課題に対応した健康教育の推進 (3) いじめ問題対策など (4) 安全教育の推進

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	5,410	補正額等	△89	合計	5,321	決算額	5,318
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

<p>(1) 自他のいのちを大切に、自分の身を危険から守ることに重きを置いて「いのちの教育」に取り組んだ。</p> <p>(2) 各校学校保健委員会を定期的(年2回)に開催し、各校における課題を明らかにしながら、学校医等からの指導等を得て改善に取り組んだ。</p> <p>(3) いじめ問題対策連絡協議会を開催し、状況と対応や、学校・家庭・地域におけるいじめ防止の取り組みについて情報を共有した。</p> <p>(4) 地域の方々と共に、登下校時の安全確保の見守り活動とあわせ、地域学校安全指導員(1人)を配置し児童生徒の安全確保を図った。</p>
--

5 事業の評価

<p>(1) 自他のいのちを大切にする「いのちの教育」を推進することができた。</p> <p>(2) 早寝早起き朝ごはんや、歯磨きの励行など、保護者と一緒に健康教育を推進することができた。</p> <p>(3) 施設の安全面の整備はもとより、地域、保護者と共に安全・安心な学校づくりを進める。</p> <p>(4) 地域の方々の協力の下、登下校時の安全確保の見守り活動を行うと共に、地域学校安全指導員の配置や安全施設の整備を進める。</p>
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	健康・安全教育の推進は学校教育の基本であり、保護者や地域の方と共に進めていく。引き続き、安全・安心な学校づくりに努めていく。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	4 教育環境の整備	所管課・係	学校教育課 管理係
-----	-----------	-------	--------------

施策体系 〔教育振興 計 画〕	Ⅱ一人ひとりの能力を伸ばし、社会を生きぬくための確かな学力を育成する ○個々の能力を伸ばす環境整備	予算科目	款	10	教育費
			項	1・2・3	教育総務費、小学校費、中学校費
			目	1・2	事務局費、学校管理費、教育振興費

2 事業の概要

事業目的	教育環境の整備
事業内容	(1) 子どもたちが学びやすい教育環境の構築

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	69,507	補正額等	7,584	合計	77,091	決算額	74,914
-------	--------	------	-------	----	--------	-----	--------

4 事業の実施状況

<p>(1) 小学校体育館非構造部材耐震化工事（溝延小、谷地西部小）、体育館無線LAN環境構築（小中学校）、北谷地小学校食堂床改修工事、河北中学校地下重油タンクFRPライニング工事、河北中学校屋外女子トイレ新設工事など</p> <p>(2) 汎用ソフトを組み入れた学習用パソコンの運用など</p> <p>(3) 学校図書の整備及び充実など</p>

5 事業の評価

<p>(1) 安全・安心な施設環境の維持に努めた。</p> <p>(2) 学習用パソコンの内容充実と併せ校務用パソコンの活用を図った。</p> <p>(3) 継続した図書の整備と充実を図った。</p>
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>環境整備の計画的実施、教育備品・学校図書館等の充実を継続的に取り組む。</p> <p>今後の学習活動において、積極的にICTを活用することが想定されることから、国の方針を踏まえた環境整備が必要となる。</p>

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	5 英語教育の強化	所管課・係	学校教育課 管理係
-----	-----------	-------	--------------

施策体系 〔教育振興 計画〕	Ⅲ変化する社会に対応して、自立する力を育成する ○英語教育・英語学習の充実	予算科目	款	10	教育費
			項	1・2	教育総務費、小学校費
			目	1・3・6	教育研究所費、英会話推進事業費、学校管理費

2 事業の概要

事業目的	英語教育の強化
事業内容	(1) 英語教育・英語学習における拠点形成 (2) 外部人材を活用した持続可能な英語教育・英語学習の推進

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	17,912	補正額等	△2,103	合計	15,809	決算額	15,747
-------	--------	------	--------	----	--------	-----	--------

4 事業の実施状況

(1) A L T 事業の継続実施と共に、小学5・6年生の外国語教育の円滑な実施のため、英語指導支援員の配置を継続実施した。
(2) 外国語活動推進事業として、幼児対象の英語教育を実施した。
(3) 英語教育・英語学習の拠点を整備し、英会話の講座を開始した。

5 事業の評価

(1) 国際化社会に対応する人材育成等のための外国語活動サポートの継続実施と共に、今後も英語に係る小中学校の更なる連携を検討していく必要がある。
(2) 外国語活動推進事業を実施し、これからの英語教育について調査及び検証するとともに、英語の普及活動につなげることができた。
(3) 英会話等の学びに必要な環境を谷地西部小学校内に整備し、英会話等の普及推進に努めた。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	持続可能な英語教育・英語学習を推進するため、外国語指導助手、英語指導支援員を配置し英語教育の充実を図る。また、英会話推進事業を充実させ、町民全体への普及拡大を図る。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	6 教育の質の向上	所管課・係	学校教育課 管理係
-----	-----------	-------	--------------

施策体系 〔教育振興計画〕	II 一人ひとりの能力を伸ばし、社会を生きぬくための確かな学力を育成する ○個々の能力を伸ばす環境整備 ○教職員研修の充実	予算科目	款 10 教育費
			項 1・2 教育総務費、小学校費
			目 2・4 教育研究所費、地域交流学習活動事業費

2 事業の概要

事業目的	教育の質の向上
事業内容	(1) 地域素材を生かした教育活動の充実 (2) 河北町教育研究所における研修の充実 (3) 学校経営の見直しによるOJTの充実と自主的な研修の支援

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	5,910	補正額等	△583	合計	5,327	決算額	5,195
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) 各校学習テーマを設定し、地域の人や地域の歴史文化に関わる学習を実施した。 (2) 教育研究所(4研究部会、4専門部会)において、今日的課題について主体的な研修を実施した。 (3) 音楽会や芸術鑑賞、町の歴史文化等に触れるため遊蔵の郷土資料館等の活用を実施した。
--

5 事業の評価

(1) 「地域交流学習活動」事業を実施し、地域の方の協力を得ながら取り組むことができた。 (2) 主体的な研修を実施し、新たな教育課題に対応する指導の向上を図ることができた。 (3) 継続して音楽会や芸術鑑賞を実施すると共に、町の施設や人材を活用することが図られた。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	教育課題の多様化・高度化に対応するため、実践的指導力をもった教職員の継続した育成を図る。地域とのつながりをより強化する「地域交流学習事業」を発展させると共に、教育研究所の機能強化を図る。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	7 特別支援教育の充実
-----	-------------

所管課・係	学校教育課
	管理係

施策体系 〔教育振興計画〕	II 一人ひとりの能力を伸ばし、社会を生きぬくための確かな学力を育成する ○特別支援教育の充実
------------------	--

予算科目	款	10	教育費
	項	2・3	小学校費・中学校費
	目	1	学校管理費

2 事業の概要

事業目的	特別支援教育の充実
事業内容	(1) 特別支援教育の実践・検証 (2) 長期的視野に立った支援体制の整備 (3) 個に応じた指導・支援の充実 など

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	10,685	補正額等	892	合計	11,577	決算額	11,559
-------	--------	------	-----	----	--------	-----	--------

4 事業の実施状況

(1) 町教育研究所において、特別支援教育部会を開催するほか、各学校の特別支援教育コーディネーターによる連絡会を開いた。 (2) 幼稚園や認定こども園と連携をとると共に、個に応じた指導や適正な就学につないだ。 (3) 学級の中で、個別に支援が必要な児童生徒のニーズに対応するため、学校の必要性に応じて学習生活指導補助員(小学校9人、中学校1人)の継続配置と研修を行った。

5 事業の評価

(1) 具体的ケースを基にした研修や、長期的な視点に立った講座の開催等、多様な個に応じた特別支援教育の研修を継続して取り組むと共に、更に保護者の理解を深める取り組みを行う。 (2) 各発達段階に応じた、支援計画のあり方など、幼稚園や認定こども園と連携を進める。 (3) 実情に応じ、継続して学習生活指導補助員を配置する。
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	個別に支援が必要な児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な教育支援を推進するため、引き続きその環境整備に努める。更に保護者の理解を深める取り組みを行っていく。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	8 キャリア教育の推進	所管課・係	学校教育課 管理係
-----	-------------	-------	--------------

施策体系 〔教育振興 計画〕	Ⅲ変化する社会に対応して、自立する力を育成する ○地域に根ざしたキャリア教育の充実	予算科目	款	10	教育費
			項	3	中学校費
			目	2	地域交流学習活動事業費

2 事業の概要

事業目的	キャリア教育の推進
事業内容	(1) 小学校段階からのキャリア教育 (2) 就業体験の充実 (3) キャリア教育のための環境整備

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	500	補正額等	0	合計	500	決算額	387
-------	-----	------	---	----	-----	-----	-----

4 事業の実施状況

<p>(1) 地域交流学習活動事業に関連し、地域を知ることや、地域に縁のある方の講話を聞くなど、小学校段階でのキャリア教育に関する事業を行った。</p> <p>(2) 中学2年生で3日間、地域の職場で就労体験を行い、生徒一人ひとりの望ましい勤労観や職業観を育てると共に、社会への参画の仕方等を考えさせた。また、3年生では、本町出身者の方々の職場を訪問し、働く人々の姿に触れ、人としての生き方などを学んだ。</p>
--

5 事業の評価

<p>(1) 家庭における家事の分担など、発達段階に応じて、様々な体験活動を実施ながら、キャリア教育を推進する。</p> <p>(2) 中学校では、実際に体験することを通じて、働くことの意義や価値を実感として学ぶことができ、また、先生以外の方から指導を受けることで、新鮮な学びを体験できた。</p>

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	主体的に自己の進路を選択し、決定できるなど、社会人・職業人として自立していくための発達段階に応じたキャリア教育を引き続き推進する。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	9 健やかな体の育成
-----	------------

所管課・係	学校教育課
	学校給食センター

施策体系 〔教育振興 計画〕	I 自他の「いのち」を尊重し、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する ・食育の推進 ・安全・安心な学校給食の提供
----------------------	---

予算科目	款	10	教育費
	項	5	保健体育費
	目	4	給食センター費

2 事業の概要

事業目的	健やかな体の育成
事業内容	(1) 食に関する指導の充実 (2) 地場産物の食材の積極的な活用し理解と関心を深める (3) 食の安全を推進 (4) 給食センターの設備・備品等の計画的な更新

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	140,290	補正額等	1,426	合計	141,716	決算額	139,570
-------	---------	------	-------	----	---------	-----	---------

4 事業の実施状況

<p>(1) 栄養教諭が毎月1回程度各学校へ訪問し、食に関する指導を計画的に実施した。</p> <p>(2) 学校給食だよりを発行し、給食のメニューの掲載だけでなく、使用している地元産食材の紹介や季節の献立についても保護者の方へお知らせした。また、生産者との交流給食会を実施した。</p> <p>(3) 食の安全管理のため食材の放射性物質検査、理化学検査等を実施した。</p> <p>(4) 小学校用食器を町のキャラクター「べにのすけ」のプリント付き食器に更新した。 施設内の手洗いを自動化・温水化した。</p>
--

5 事業の評価

<p>(1) 引き続き食育計画の推進と、栄養教諭による食に関する指導を実施する。</p> <p>(2) 町産食材の積極的な活用により使用率も前年度より伸びている。H29 22.0% → H30 23.9% 地元生産者との交流給食会を実施し、理解と関心を深めることができた。</p> <p>(3) 食の安全確保のため継続的に各種食材検査を実施するとともに、調理現場での衛生管理の徹底を図る必要がある。</p> <p>(4) 衛生面はもちろん安全面からも計画的に施設・設備・備品等を更新していく必要がある</p>
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	河北町の食育推進計画の重点目標にも取り組み、学校・家庭・地域と連携して児童生徒の望ましい食習慣の形成に努める。また、施設等の計画的な修繕・更新、安全な食材の使用など推進する。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	10 農村環境改善施設事業
-----	---------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計画	V地域に根ざした生涯学習社会を築く
	○学び続けるための学習機会の充実

予算科目	款	6	農林水産業費
	項	1	農業費
	目	6	農村環境改善施設費

2 事業の概要

事業目的	地区の中心的施設であるセンターの管理運営及び維持
事業内容	西里、溝延、北谷地の各センターの維持管理費

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	26,126	補正額等	513	合計	26,639	決算額	25,417
-------	--------	------	-----	----	--------	-----	--------

4 事業の実施状況

(1)	各センターの運営協議会開催	2回ずつ
(2)	利用者数と利用料金	
	・農村環境改善センター（西里地区公民館）	13,652人 476,495円 (前年度13,977人 451,833円)
	・溝延研修センター（溝延地区公民館）	12,791人 522,458円 (前年度15,380人 420,217円)
	・北谷地構造改善センター（北谷地地区公民館）	8,953人 260,297円 (前年度11,082人 316,854円)
(3)	修繕、工事等	
	・農村環境改善センター	遊具修繕（シーソー）、センター入口照明取換、屋外トイレ排水つまり修理、印刷機修理、女子トイレパネルヒーターコンセント交換、女子トイレ漏水修繕、女子トイレタイル修繕、和室照明交換
	・溝延研修センター	玄関及び研修室照明器具修繕、卓球台修繕、調理実習室水抜栓交換、ガス器具修繕、男子トイレ換気扇改修、階段ノンスリップ補修、外灯修繕、多目的ホールガラス及び鍵修繕
	・北谷地構造改善センター	遊具修繕業務（複合遊具）、外男子トイレ修繕、調理室照明器具取替、FF暖房機灯油コック修繕、事務室出入口ドア修繕
(4)	備品購入	
	・アルミ体育館用バレー支柱（溝延研修センター）	

5 事業の評価

地域の活性化および地域の絆の醸成、地域住民の健康の増進、生活文化の振興等のための施設として、適切な管理運営に努めた。
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	各施設で修繕を行い備品を購入しているが、経年劣化によって見込まれる大規模修繕に関しては計画的に執行し、施設の適切な維持管理と利用者の利便性を確保する。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	1 1 社会教育総務事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	--------------	-------	----------------

施策体系 〔教育振興 計画〕	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る	予算科目	款	10	教育費
	○家庭・地域と連携する学校教育の推進		項	4	社会教育費
	○地域の教育力を高める活動の推進		目	1	社会教育総務費

2 事業の概要

事業目的	地域住民が積極的に生涯教育活動に関わり地域の教育力を向上
事業内容	社会教育委員、社会教育推進員、青少年育成推進員、紅花いっぱい運動事業、学校支援本部事業、家庭教育支援事業、伝統文化等地域活性化事業等

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	5,057	補正額等	▲697	合計	4,360	決算額	4,154
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) 社会教育委員	・委員会を2回開催し、委員より生涯学習事業全般について意見を求めている。		
(2) 社会教育推進員	・事業全般に協力。青少年育成推進員との合同会議を2回、合同研修会を1回開催		
(3) 青少年育成推進員	・各種少年向け事業の運営、青少年健全育成のための巡回などに協力		
(4) 少年教育・青年教育			
・第30回爽やかサイクリング	平成30年	9月29日(土)	41人参加
・第28回子どものつどい	平成31年	3月2日(土)	21人参加
・家庭の日イベント かき氷キャンドル作り	平成30年	7月15日(日)	
サイエンスショー	平成31年	1月20日(日)	
・べに花の種プレゼント	平成30年	4月8日(日)	
・第38回最上紅花切花展		7月7日(土)	
(5) 学校支援地域本部事業	・教育委員会にコーディネーターを配置し、各学校の要望把握とボランティアの人材確保および調整を図ることで学校を支援した。		
(6) 家庭教育支援事業	・やまがた子育て講座 町内7小中学校		
	・幼児共育ふれあい広場 町内1幼稚園、2こども園、1子育てセンター		
(7) 各種団体への補助	・青年団、婦人会、子ども会育成会連絡協議会、青少年育成町民会議へ補助金を支出した。		
(8) 伝統文化等地域活性化事業	・伝統文化の継承団体に補助金を支出した。 1団体		

5 事業の評価

少年教育・青年教育では、爽やかサイクリング、子どものつどいとも昨年度に比べ参加者が増加した。社会教育委員や社会教育・青少年育成両推進員、子ども会育成会役員、青年団員など多くの方々の協力を得ながら事業を実施することができた。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	参加者募集のイベントについては、わかりやすい告知方法や他のイベントの日程確認を継続し、参加者の増加を図る。				

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	12 成人式・はたちのつどい事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	------------------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る ○地域の教育力を高める活動の推進	予算科目	款	10	教育費
			項	4	社会教育費
			目	1	社会教育総務費

2 事業の概要

事業目的	地域の若者力の集結
事業内容	成人式及びはたちのつどいの実施

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	900	補正額等	0	合計	900	決算額	884
-------	-----	------	---	----	-----	-----	-----

4 事業の実施状況

(1) 成人式・はたちのつどい 平成31年1月13日(日)	<p>・成人式の式典をサハトベに花で、引き続きはたちのつどいを町民体育館で開催した。平成25年度に河北中学校を卒業した人等が対象で、対象218人中、169人が式典に参加した。</p> <p>なお、青年団員が主体となった実行委員が企画・運営した「はたちのつどい」は、飲食を伴いながら恩師や旧友と語り合うことができる、楽しい集いの場となった。</p>
(2) 成人式・はたちのつどい写真展 平成31年2月3日(日)	<p>・サハトベに花で開催し、はたちのつどい実行委員が撮影したスナップ写真の注文を受け付け、来場者49人のうち46人が注文し、計482枚の写真が購入された。</p> <p>なお、今年度からインターネット写真展も開催し、33件の注文があり、計374枚購入された。</p>

5 事業の評価

<p>成人式は、厳かな雰囲気の中で滞りなく終えた。「はたちのつどい」は、実行委員会の中核となる町青年団の団員数と活動可能な時間が減少している中で、各実行委員が工夫を凝らして開催することができた。</p>

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>成人年齢引き下げについては、全国の動向を踏まえながら、成人式およびはたちのつどいの運営方法について検討を行っていく。</p>

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	13 放課後子ども教室推進事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	-----------------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る ○家庭・地域と連携する学校教育の推進	予算科目	款	10	教育費
			項	4	社会教育費
			目	1	社会教育総務費

2 事業の概要

事業目的	子どもの安全な遊び場の確保、体験学習を通しての仲間づくり
事業内容	夏休みを除く6月から10月までの期間の水曜日に子どもの遊び場を確保

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	540	補正額等	▲123	合計	417	決算額	411
-------	-----	------	------	----	-----	-----	-----

4 事業の実施状況

(1) 子どもの居場所づくり事業

・平成16年度から取り組んでいる事業であり、運営委員でもある各地区青少年育成町民会議役員、各学校及び各放課後児童クラブの協力を得て、6月から10月の夏休みを除く水曜日の放課後を基本に実施している。5種類（ビーズアクセサリー、おりがみ、俳句、英語、キッズダンス）の講座の展開を含め、子ども同士の交流と居場所づくりに取り組んだ。

町内の学区ごとに6会場で実施し、一日平均で約62人が参加した。なお、教室別の1回あたりの平均人数は以下のとおりである。

西里放課後子ども教室	18人
溝延放課後子ども教室	13人
谷地中部放課後子ども教室	23人
谷地南部放課後子ども教室	19人
谷地西部放課後子ども教室	5人
北谷地放課後子ども教室	11人

5 事業の評価

異年齢の子ども同士が交流する場として定着し、地区によっては独自講座を追加している。地域の方々にコーディネーター役と見守り役をお願いしているが、地区毎に子どもの参加者数が異なるため、地区の状況に合わせた運営が必要である。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	地域、学校、学童クラブの要望を把握し、学校、地域と連携協力しながら運営を行っていく。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	14 公民館事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	----------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る ○地域の教育力を高める活動の推進 V地域に根ざした生涯学習社会を築く ○学び続けるための学習機会の充実	予算科目	款	10	教育費
			項	4	社会教育費
			目	2	公民館費

2 事業の概要

事業目的	公民館活動や文化活動の活性化と文化活動への積極的参加の促進
事業内容	中央公民館事業、各分館活動支援、婦人文化教室支援、ひなカレッジ支援

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	4,223	補正額等	▲1,000	合計	3,223	決算額	3,194
-------	-------	------	--------	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) 青少年講座	<ul style="list-style-type: none"> べに花かほく体験隊 平成30年8月19日(日) 臨床美術士を講師に招き、8人の子どもたちが宇宙をテーマにクリニカルアートに挑戦した。
(2) 婦人文化教室	<ul style="list-style-type: none"> 開級式、閉級式、移動学習、文化祭発表、各学級の活動等を支援した。
(3) かほく町民大学ひなカレッジ	<ul style="list-style-type: none"> 16人の実行委員が中心となって、大講座、小講座、公開講座、閉講式を開催した。 大講座 夏井いつき句会ライブ 平成30年10月14日(日) 入場者715人 小講座 べにばなラボ、大人の部活動、こころ学、女性の磨き学、恋する歴史学 受講生延べ126人 公開講座 かほくシネマ倶楽部(優秀映画鑑賞推進事業)平成30年8月11日(土) 4作品上映 入場者延べ413名 閉講式 活動報告、CHILDHOODコンサート 平成30年12月22日(土) 入場者約170人
(4) 生涯学習講師派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> 団体の登録更新を行い、登録されている対象団体は、6団体。 学習の一部補助として、1件5,000円を補助している。 平成30年度は、9件を支援した。
(5) 自治公民館(分館)	<ul style="list-style-type: none"> 自治公民館80館で連絡協議会を組織し、総会、大会、視察研修の事業を実施した。

5 事業の評価

かほく町民大学ひなカレッジは、実行委員がそれぞれの経験を活かした企画・運営を行っており、良い意味で行政主導とは異なる視点や発想による多様な講座を展開し、事業内容の見直しについても活発に議論されている。
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	各団体と連絡を密にし、円滑に事業が進むよう支援を継続する。ひなカレッジは10周年を迎え、今後の展開についても議論していく。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	15 地区公民館事業
-----	------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計画	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る ○地域の教育力を高める活動の推進 V地域に根ざした生涯学習社会を築く ○学び続けるための学習機会の充実
--------------------	--

予算科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	2	公民館費

2 事業の概要

事業目的	各地区公民館活動による、地域力の高まりと文化活動への積極的参加の促進
事業内容	各地区公民館の活動と運営

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,142	補正額等	0	合計	1,142	決算額	1,078
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) 文化教養講座	・文化教室（西里） 8学級延べ123人 ・大昭大学（溝延） 89人 ・文芸学級（北谷地） 8学級延べ103人	・婦人会各学級（溝延） 6学級延べ98人 ・あじさい学級（溝延） 30人
(2) 学習講座	・しめ飾り作り（西里） ・小正月行事（溝延） ・ミニ門松づくり（北谷地） ・小正月行事（北谷地）	西里小学校5年生参加 溝延小学校1・3年生参加 北谷地小学校5年生参加 北谷地小学校1・2年生参加
(3) その他の講座等の開催、協力（各地区）	・子どもの居場所づくり事業 ・地区公開講座 1回ずつ ・地区文化祭 1回ずつ ・新春を祝う会 1回ずつ ・やすらぎのまちづくり事業における交流会 1回ずつ ・輪投げ大会、スカットボール大会、ゲートボール大会 等	
(4) センターだよりの発行（各地区）		

5 事業の評価

館長、管理人、担当職員の連携のもとで各種団体、地域、学校等の協力を得ながら事業に取り組んだ。各講座には女性や高齢者のリピーターを中心に一定の参加者数があるが、新たな参加者を確保する方法を模索する。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	より多くの人に参加できるように、内容の充実と創意工夫に努める。学習講座の講師は、老人クラブや高齢者の方が中心のため、次世代への技術の継承を図っていく。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	16 図書館事業
-----	----------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計画	I 自他の「いのち」を尊重し、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する ○豊かな心の育成 V 地域に根ざした生涯学習社会を築く ○学び続けるための学習機会の充実
--------------------	---

予算科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	3	図書館費

2 事業の概要

事業目的	図書館の運営とサービスの充実
事業内容	指定管理者制度の導入による施設運営、備品（蔵書）の計画的な購入

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	27,496	補正額等	0	合計	27,496	決算額	27,495
-------	--------	------	---	----	--------	-----	--------

4 事業の実施状況

(1) 図書館の運営 ・NPO法人河北まちづくりネットワークひまわりが指定管理者となり、図書館運営やブックスタート事業、おはなし会、移動図書館等を実施した。
(2) 図書館後援会 ・趣旨に賛同くださる方から寄付金（会費）を募り、大活字本、DVDを図書館に寄贈した。 大活字本44冊、DVD等11巻寄贈

5 事業の評価

指定管理者制度の導入により、夜間の開館や図書館ホームページの更新などサービスの拡充を図り、利用者の多様なニーズに応える蔵書の配置や読書啓発活動を行っている。
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	良書や町民が関心を持つ書籍の選定に努め、蔵書の内容充実を図り、職員の研修を継続する。閉架書庫の棚やBM車の更新について検討を継続する。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	17 文化財総務事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	------------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	V地域に根ざした生涯学習社会を築く ○郷土愛を高める学習の推進	予算科目	款	10	教育費
			項	4	社会教育費
			目	4	文化財費

2 事業の概要

事業目的	地域の文化財の保護と資料整備
事業内容	町文化財保護審議会の開催、町の歴史講座の開催

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,372	補正額等	▲10	合計	1,362	決算額	1,341
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) 文化財保護審議会 会議：3回 研修：南陽市、米沢市 ・毎月の広報かほく15日号に各地区の由来、名所等を紹介する「かほく風土記」を掲載した。
(2) 河北町の歴史講座 3回 実人数で74人参加（延べ125人参加） ・第1回 戊辰戦争と西郷 12月8日（土）52人参加 ・第2回 日本遺産 山寺と紅花 1月26日（土）40人参加 ・第3回 齋藤茂吉文化賞受賞記念講演「野鳥と私」 2月16日（土）33人参加
(3) 全国民俗芸能保存振興市町村連盟総会出席 ・福島県二本松市 7月27日～28日
(4) 山形ふるさと塾伝承活動への助成 ・子ども達に伝統文化等を伝える山形ふるさと塾に賛同する2団体について助成した。

5 事業の評価

文化財保護審議会の意見を尊重しながら文化財の保護に努めている。広報に「かほく風土記」を掲載し文化財の周知を図り、町の歴史講座は、リピーターが多く好評を博している。

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	町指定文化財の候補について調査を継続し、順次指定することで、文化財保護を推進する。文化財保護審議会の委員候補について情報を収集する。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	18 文化財保護事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	------------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	V地域に根ざした生涯学習社会を築く ○郷土愛を高める学習の推進	予算科目	款	10	教育費
			項	4	社会教育費
			目	4	文化財費

2 事業の概要

事業目的	文化財愛護精神の啓発
事業内容	町指定文化財の指定と保護、史跡説明板設置、日本遺産事業の推進

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,633	補正額等	2,800	合計	4,433	決算額	4,389
-------	-------	------	-------	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

<p>(1) 県指定文化財の巡回</p> <p>(2) 無形文化財の保護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収録済映像の編集と公開（遊蔵、サハトベに花） ・民俗芸能伝承活動の助成…岩木伝承活動保存会 <p>(3) 史跡説明板の更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・谷地城本丸跡（三社宮と土塁） <p>(4) 天然記念物の保護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県指定天然記念物「蟠竜の松」松くい虫感染検査の実施および保全事業への助成 ・町指定天然記念物「熊野神社の櫻」保全事業への助成 ・町指定天然記念物「双竜の松」松くい虫防除事業への助成 <p>(5) 指定文化財の保護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町指定文化財「旧安部家住宅と屋敷」家屋根補修への補助 <p>(6) 日本遺産「山寺が支えた紅花文化」（5月24日、文化庁認定）関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定記念特別公演「林家舞楽」 11月3日（土） ・「山寺と紅花」推進協議会設立および事業の推進 ・日本遺産認定掲示板、説明板の作成
--

5 事業の評価

<p>無形文化財の収録映像の公開、史跡説明板の更新、文化財保護活動を行う団体への助成などにより、文化財保護精神の向上を図っている。また、所有者が行う指定文化財の保護事業について補助金を支出した。</p>

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>日本遺産「山寺と紅花」については、推進協議会と連携したPR活動を行う。指定文化財や埋蔵文化財について、現況調査や有識者の意見を踏まえ、計画的な保護を行う。</p>

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	19 サハトベに花管理事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	---------------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	V地域に根ざした生涯学習社会を築く ○学び続けるための学習機会の充実	予算科目	款	10	教育費
			項	4	社会教育費
			目	5	サハトベに花費

2 事業の概要

事業目的	サハトベに花の維持管理
事業内容	指定管理者制度の導入による施設管理、計画的な維持修繕

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	99,416	補正額等	606	合計	100,022	決算額	99,870
-------	--------	------	-----	----	---------	-----	--------

4 事業の実施状況

(1) 河北町総合交流センターサハトベに花の運営	
・ 指定管理者 (株)河北町べに花の里振興公社	
年間利用件数 2,219件 (前年度 2,179件)	
年間利用人数 70,978人 (前年度72,098人)	
(2) プラネタリウム等の上映	
・ 平成27年7月にリニューアルオープンした全天周劇場でプラネタリウム等を上映した。	
年間上映回数 524件 (前年度 532件)	
年間利用人数 7,641人 (前年度6,684人)	
(3) 工事等	
・ 舞台ボーダーケーブル等交換	・ 自動火災報知設備更新
・ 非常用発電装置ヒーター交換	・ 事務室脇多機能トイレ自動扉修繕
・ プラネタリウム電球及びHDD交換	・ ホール自動ドア装置センサー修繕
・ 屋内消火栓ポンプ修繕	・ 地下ピット排水ポンプ交換
(4) 備品購入	
・ イス用台車の更新	

5 事業の評価

NPO法人小さな天文学者の会と連携した天文関連の講座やイベントの実施により、新しい利用者層が増加している。一方で、開館から20年以上が経過し、施設や機器等の計画的な更新や修繕が必要である。
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	指定管理者と協議し修繕箇所をランク付けして計画的に修繕や更新の対応を図る。プラネタリウムは、上映内容の充実と町内外へのPR活動を継続する。				

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	20 サハトベに花文化事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	---------------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	V地域に根ざした生涯学習社会を築く ○生きがいを感じ、感動できる芸術文化活動の 充実	予算科目	款	10	教育費
			項	4	社会教育費
			目	5	サハトベに花費

2 事業の概要

事業目的	地域住民の芸術文化の意識向上
事業内容	サハトホール事業、プラネタリウム活用

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	11,678	補正額等	▲142	合計	11,536	決算額	10,884
-------	--------	------	------	----	--------	-----	--------

4 事業の実施状況

(1) サハトホール事業
<ul style="list-style-type: none"> 「堀米ゆず子と若手3人ヴァイオリニスト 4台ヴァイオリンによる演奏会」 平成30年7月7日(土) (紅花資料館 八景園) 「宝くじおしゃべり音楽館～思い出のスクリーンミュージック～」 出演者：春風亭小朝、島田歌穂、小原孝、おしゃべり音楽館ポップスオーケストラ 平成31年2月23日(土) 入場者458人 「狂言風オペラ フィガロの結婚」 平成31年3月17日(日)
(2) プラネタリウム・天文講座
<ul style="list-style-type: none"> べに花の里振興公社、NPO 法人小さな天文学者の会と連携したイベントを実施した。 「オーロラ上映&トークライブ」 平成31年1月19日(土)

5 事業の評価

クラシック音楽会や東西文化が融合したオペラの上映などのイベントは、来場者に満足いただき、町の知名度を上げることができた。プラネタリウムでのオーロラ上映は、サハトならではのイベントとして好評だった。
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	町民のニーズに応える質の高い公演を計画する。また、NHK事業・宝くじ助成事業などの経費的な助成を見込める事業の開催申請を継続する。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	2 1 芸術文化振興事業
-----	--------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系 教育振興 計画	I 自他の「いのち」を尊重し、豊かな心と健やかな体を育む教育を推進する ○豊かな心の育成
	V 地域に根ざした生涯学習社会を築く ○生きがいを感じ、感動できる芸術文化活動の充実

予算科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	5	サハトベに花費

2 事業の概要

事業目的	地域住民の芸術文化活動の活性化
事業内容	河北町芸術文化協会、県美展河北巡回展、べに花の里俳句大会等各種芸術文化団体への活動補助、サハトベに花展示室での展示事業の実施

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	2,209	補正額等	▲426	合計	1,783	決算額	1,782
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) サハトベに花展示事業（一般貸館を除く。）	町内の各芸術文化団体等の協力を得て取り組んだ。
・ 共催事業：河北美術クラブ展	5月 2日～ 5月 9日
・ 自主事業：河北美術クラブ会員展（鈴木順子油彩画展）	5月16日～ 6月13日
・ 自主事業：河北町書道連盟会員展（高橋和泉・押野修岳・今田悦子三人書作展）	8月 3日～ 8月31日
・ 共催事業：「明治150年」展	10月 6日～10月21日
・ 総合文化祭：総合作品展	11月 3日～11月 5日
・ 総合文化祭：河北郷土史研究会展示	11月 7日～11月30日
・ 自主事業：河北美術クラブ会員展（中島敏隆・半澤久雄二人展）	12月14日～ 1月20日
・ 共催事業：河北町書道連盟会員展	3月13日～ 3月23日
(2) 文化祭の開催	
・ 町芸術文化協会加盟19団体の発表会（9月30日～11月26日）	
・ 記念式典・舞台発表会（11月3日）	
・ 文化祭の反省会・研修会（2月27日）	
(3) 各種芸術文化団体への補助	
・ 町芸術文化協会、県美展河北巡回展実行委員会、べに花の里俳句大会実行委員会、町小中学校芸術鑑賞教室実行委員会へ補助金を支出し活動を支援した。	

5 事業の評価

展示事業は、各芸術文化団体等の協力を得て取り組んだ。文化祭では町芸術文化協会加盟団体の発表会を10～11月に行ったが、会員の高齢化が課題である団体も多い。県美展河北巡回展では、石巻市の絵画展示を継続した。
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	町内の芸術文化活動の盛り上がりには、町芸術文化協会加盟各団体のPR活動や団体同士の連携が重要であり、芸術文化協会の活動活性化を進める。

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	22 女性・青少年センター事業	所管課・係	生涯学習課 生涯学習係
-----	-----------------	-------	----------------

施策体系 教育振興 計画	IV家庭・地域・学校の協働による社会全体の教育力向上を図る ○地域の教育力を高める活動の推進	予算科目	款	10	教育費
			項	4	社会教育費
			目	6	女性・青少年センター費

2 事業の概要

事業目的	青年層の活動の活性化
事業内容	女性・青少年センターの管理、運営

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,253	補正額等	64	合計	1,317	決算額	1,250
-------	-------	------	----	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) 利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・青年団や高校生ボランティアサークル・ピエロが、それぞれの活動拠点として利用した。また、河北青年会議所の事務所として、施設の一部占用を許可した(有料)。このほか、県の学習支援事業で利用があった。
(2) 修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・1階男子トイレピット蓋修理 ・ピット内漏水修理
(3) 管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・(株)河北町べに花の里振興公社に管理業務を委託 <p>年間利用件数 107件(前年度 172件) 年間利用人数 1,014人(前年度 2,461人)</p>

5 事業の評価

<p>昨年度に比べ、定期利用団体のひとつが活動拠点を移したことにより、利用件数、利用人数ともに減少した。</p>
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>施設を維持管理するため適切な修繕を図る。利用者数拡大には施設の存在を周知する必要があるが、「女性・青少年センター」としての機能を維持するのか、他の用途でも活用すべきかを調査検討し進める。</p>

事務事業点検及び評価調書

1 事業名等

事業名	23 交流館遊戯事業
-----	------------

所管課・係	生涯学習課
	生涯学習係

施策体系	V地域に根ざした生涯学習社会を築く
教育振興計画	○郷土愛を高める学習の推進

予算科目	款	10	教育費
	項	4	社会教育費
	目	7	交流館遊戯費

2 事業の概要

事業目的	まちなか交流人口の拡大、青少年層への伝統文化の紹介、生涯学習活動及び生涯スポーツの活性化
事業内容	施設の維持管理、郷土資料館の展示、体験学習の実施、運動する機会の提供

3 予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	4,950	補正額等	105	合計	5,055	決算額	5,114
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4 事業の実施状況

(1) 利用人数	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内運動場 729件、5,955人(前年度794件、6,964人) ・郷土資料館 1,029人(前年度1,121人)
(2) 施設管理	<ul style="list-style-type: none"> ・河北町シルバー人材センターに委託
(3) 施設修繕、工事	<ul style="list-style-type: none"> ・木製扉ドアクローザー修理 ・郷土資料館棟 通路床修繕 ・照明用ランプ交換 ・事務室エアコン設置
(4) 常設展示	<ul style="list-style-type: none"> ・祭り暮らし展示室…囲炉裏端と民具・農具の展示、囃子屋台の展示 ・匠の道具展示室…河北職業訓練協会より資料借用 ・来館者、小学生向け展示説明…河北町郷土資料館協力員 ・タッチパネルパソコンの設置・内容の更新

5 事業の評価

郷土資料館は、非常勤の協力員に展示替えや解説をお願いし、各小学校の社会科学習の見学先として活用されている。屋内運動場はゲートボール、フットサル、輪投げ、テニス、野球等で昼夜使用され盛況を維持している。
--

6 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	郷土資料館内のタッチパネルのパソコンの内容更新を継続する。開館後10年を経過し、修繕すべき箇所がないかチェックを随時行っていく。

事務事業点検及び評価調書

1、事業名等

事業名	2 4 保健体育総務事業
-----	--------------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系 教育振興 計画	6 活力ある生涯スポーツの推進
	・生涯スポーツの推進
	・生涯スポーツ活動の情報提供

予算科目	款	10	教育費
	項	5	保健体育費
	目	1	保健体育総務費

2、事業の概要

事業目的	町民総スポーツの推進
事業内容	地域における一層のスポーツの振興と一町民スポーツの推進

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,613	補正額等	-20	合計	1,593	決算額	1,535
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

<p>(1) スポーツ推進審議会を年3回開催し、体育・スポーツを体系的、計画的に推進するための調査・審議を行った。</p> <p>(2) 町体育協会に補助金を交付し、体育・スポーツの更なる振興を図った。また、体育協会主催による、本町スポーツの普及振興に功績のあった方、並びに競技成績が優秀である個人又は団体を、河北町体育協会表彰式にて表彰した。</p> <p>(3) 山形県スポーツ振興21世紀協会負担金で、モンテディオ山形関係のサッカー事業の充実を図った。</p> <p>(4) 河北スポーツクラブは、町からの総合型地域スポーツクラブ補助金を活用し、子どもから高齢者まで誰もがそれぞれのニーズに応じて気軽にスポーツに親しめる環境を整え、町民の自主運営による総合的なスポーツクラブである。その趣旨に基づき会員募集チラシを全会員に配布し、新規の教室も加え会員の増加と円滑かつ継続的な事業の展開に努めた。</p> <table border="0"> <tr> <td>・朝のストレッチ・ヨガ教室</td> <td>通年</td> <td>40回</td> <td>25人</td> <td>・ピラティス教室</td> <td>通年</td> <td>40回</td> <td>31人</td> </tr> <tr> <td>・ストレッチ・ヨガ教室</td> <td>通年</td> <td>40回</td> <td>24人</td> <td>・エンジョイ吹き矢教室</td> <td>通年</td> <td>20回</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>・らくらくエアロピクス教室</td> <td>通年</td> <td>40回</td> <td>15人</td> <td>・キッズダンス教室</td> <td>通年</td> <td>40回</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>・貯筋健康教室</td> <td>通年</td> <td>40回</td> <td>18人</td> <td>・卓球教室</td> <td>短期</td> <td>10回</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>・骨盤ストレッチ教室</td> <td>通年</td> <td>40回</td> <td>20人</td> <td>・ブレイクダンス教室</td> <td>通年</td> <td>40回</td> <td>16人</td> </tr> </table> <p>(5) スポーツ行事等の年間予定を掲載した河北体育スポーツだよりの発行(全戸配布)、河北町区対抗総合スポーツ交流大会等の結果について、町の広報や生涯学習課のホームページ、更には、河北町民体育館玄関にスポーツ情報提供の整備に努めた。</p>	・朝のストレッチ・ヨガ教室	通年	40回	25人	・ピラティス教室	通年	40回	31人	・ストレッチ・ヨガ教室	通年	40回	24人	・エンジョイ吹き矢教室	通年	20回	4人	・らくらくエアロピクス教室	通年	40回	15人	・キッズダンス教室	通年	40回	52人	・貯筋健康教室	通年	40回	18人	・卓球教室	短期	10回	16人	・骨盤ストレッチ教室	通年	40回	20人	・ブレイクダンス教室	通年	40回	16人
・朝のストレッチ・ヨガ教室	通年	40回	25人	・ピラティス教室	通年	40回	31人																																	
・ストレッチ・ヨガ教室	通年	40回	24人	・エンジョイ吹き矢教室	通年	20回	4人																																	
・らくらくエアロピクス教室	通年	40回	15人	・キッズダンス教室	通年	40回	52人																																	
・貯筋健康教室	通年	40回	18人	・卓球教室	短期	10回	16人																																	
・骨盤ストレッチ教室	通年	40回	20人	・ブレイクダンス教室	通年	40回	16人																																	

5、事業の評価

<p>河北スポーツクラブでは、様々な教室の運営に努め、幅広い年齢層の方々から参加をいただいています。自分の居場所やストレスの発散、仲間づくりなどスポーツを通じた人とのかかわりが人生を豊かにするものであり貴重なスポーツクラブと評価しています。</p>
--

6、今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>スポーツだけにとどまらず、文化的な教室の開催などを通して会員同士の交流会なども開催していきたい。</p>

事務事業点検及び評価調書

1、事業名等

事業名	25 体育指導・教室事業
-----	--------------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系 教育振興 計画	6 活力ある生涯スポーツの推進
	・生涯スポーツの推進

予算科目	款	10	教育費
	項	5	保健体育費
	目	1	保健体育総務費

2、事業の概要

事業目的	町スポーツ推進委員の社会体育事業への参画と青少年スポーツの振興
事業内容	町スポーツ推進委員の河北スポーツクラブへの育成、指導、助言及び青少年スポーツの育成

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	451	補正額等	-35	合計	416	決算額	414
-------	-----	------	-----	----	-----	-----	-----

4、事業の実施状況

<p>(1) 町スポーツ推進委員は、区対抗総合スポーツ交流大会等の社会体育事業への参画及び総合型地域スポーツクラブの育成、指導、助言に努めた。</p> <p>(2) 平成 30 年度村山地区スポーツ推進委員研修会兼西村山ブロックスポーツ推進委員研修会を開催した。</p> <p>①開催期日 平成 30 年 10 月 27 日 (土)</p> <p>②開催場所 研修：河北町職業訓練センター 実技：河北町民体育館</p> <p>(3) スポーツ少年団の育成事業を行う経費に対して、補助金を交付するとともに、団員募集チラシの発行、本部員会、代議員会、合同結団式、合同研修会、指導者協議会、母集団研修会などを開催し、青少年スポーツの振興と青少年の心身の健全な育成を図った。</p>

5、事業の評価

<p>(1) スポーツ推進委員の協力によって区対抗総合スポーツ交流大会の運営がスムーズに進めることが出来た。</p> <p>(2) 少子化の影響により団員数が減ったり、統合が進んだり再構築の流れの中、指導者と母集団が一体となって青少年の健全育成に取り組めた。</p>

6、今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>運動部活動の在り方に関する総合的なガイドラインが示され、スポーツ少年団の取り組み方も変化する可能性があり、地域にあったスポーツ少年団の育成に努める必要がある。</p>

事務事業点検及び評価調書

1、事業名等

事業名	26 各種大会開催事業
-----	-------------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系	6 活力ある生涯スポーツの推進
教育振興	・生涯スポーツの推進
計画	

予算科目	款	10	教育費
	項	5	保健体育費
	目	1	保健体育総務費

2、事業の概要

事業目的	区対抗関係大会を通しての、地域住民の世代間交流と長距離選手の育成強化
事業内容	各種大会を通して、町民の融和と親睦を深め、健康増進と明るい町づくりの推進

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	2,465	補正額等	-48	合計	2,417	決算額	2,401
-------	-------	------	-----	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

<p>(1) 第34回べに花杯近隣市町ゲートボール大会を16チームの参加で開催し、愛好者が大会を通して、チーム相互の親睦と技術の向上に努めた。</p> <p>① 開催期日 平成30年7月11日(水)</p> <p>② 開催場所 ひなの湯東公園</p> <p>(2) 第23回河北町区対抗総合スポーツ交流大会を開催し、地域住民の世代間交流を図り、町民の融和と親睦を深め、健康増進と明るい町づくりの推進に努めた。</p> <p>①開催期日 ・平成30年6月3日(日) 輪投げ大会 143チーム(前年度147チーム)</p> <p>・平成30年8月19日(日) スカットボール大会 135チーム(前年度136チーム)</p> <p>・平成30年11月25日(日) ダーツ大会 150チーム(前年度153チーム)</p> <p>・平成31年1月20日(日) シャフルボード大会 136チーム(前年度137チーム)</p> <p>②開催場所 河北町民体育館</p> <p>(3) 第63回山形県縦断駅伝競走大会で、寒河江西村山チームが11チーム中総合7位の成績であった。</p> <p>①開催期日 平成30年4月27日(金)から29日(祝・日)</p> <p>②開催場所 県内一円</p> <p>(4) 第35回山形県女子駅伝競走大会で寒河江西村山チームが11チーム中8位の成績であった。</p> <p>①開催期日 平成30年11月18日(日)</p> <p>②開催場所 山形市周辺</p> <p>(5) 第65回西村山地区駅伝競走大会に本町より2チーム参加し、10チーム中、Bチームが6位の成績であった。Aチームは途中棄権となった。</p> <p>①開催期日 平成30年11月11日(日)</p> <p>②開催場所 西村山管内一円</p> <p>(6) 第21回山形県ジュニア駅伝競走大会に本町より男女各1チーム参加し、男子33チーム中7位、女子32チーム中6位の成績であった。</p> <p>①開催期日 平成30年8月5日(日)</p> <p>②開催場所 蔵王坊平クロスカントリーコース</p>
--

5、事業の評価

<p>河北町区対抗総合スポーツ交流大会は、700名から1,000名近くの参加者となり大変盛り上がる大会に成長してきている。世代間交流・地域間交流の一役を担っているものと評価する。</p>

6、今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>競技種目も定着してきている。また、大会終了時間の繰上げに取り組み、参加者が楽しいひと時を過ごせる大会運営に努めたい。</p>

事務事業点検及び評価調書

1、事業名等

事業名	27 べに花関係大会開催事業
-----	----------------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系 教育振興 計画	6 活力ある生涯スポーツの推進
	・生涯スポーツの推進

予算科目	款	10	教育費
	項	5	保健体育費
	目	1	保健体育総務費

2、事業の概要

事業目的	べに花文化の意識の高揚
事業内容	べに花関係大会を通して、スポーツの振興と町の活性化

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	1,450	補正額等	0	合計	1,450	決算額	1,450
-------	-------	------	---	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

<p>(1) 県内外から主催者が認めた優秀チームを招聘し、町内の小中高校生の卓球のレベルアップを図ることを目的に、第31回べに花杯卓球大会を開催。</p> <p>①開催期日 平成31年3月22日(金)・23日(土)・24日(日)</p> <p>②開催場所 河北町民体育館</p> <p>③参加チーム ・小学男子 15チーム ・小学女子 15チーム ・中学男子 19チーム ・中学女子 16チーム ・高校女子 8チーム</p> <p>(2) 第37回べに花マラソン大会を開催し、町の紅花文化の意識を高めるとともに、スポーツの振興と町民の融和を図り、町の活性化に努めた。</p> <p>①開催期日 平成30年7月1日(日)</p> <p>②開催場所 河北町民体育館周辺</p> <p>③参加者数 898人(前年度800人)</p>

5、事業の評価

べに花マラソン大会は、町外からの参加者の割合が多く、また、紅花をPRすることに関しても一番良い時期の大会となっていることから相乗効果を得られるものと評価している。

6、今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	最近、昔と比べて気温の上昇が見受けられるため、給水所の増設や広報車などによる水分補給のアナウンスなどもしながらファミリーマラソンという位置付けを守って楽しく走れるよう工夫して運営に努めたい。

事務事業点検及び評価調書

1、事業名等

事業名	28 体育施設事業
-----	-----------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系 教育振興 計画	6 活力ある生涯スポーツの推進
	・生涯スポーツの推進と施設の充実

予算科目	款	10	教育費
	項	6	保健体育費
	目	2	体育施設費

2、事業の概要

事業目的	体育施設の適正な維持管理
事業内容	指定管理者制度を導入し、(株)河北町べに花の里振興公社に管理及び運営を委託し、河北町体育施設の適正な維持管理を確保しつつ、住民サービスの向上に努める。

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	101,027	補正額等	9,094	合計	110,121	決算額	110,120
-------	---------	------	-------	----	---------	-----	---------

4、事業の実施状況

<p>(1) (株)河北町べに花の里振興公社に、河北町体育施設の管理及び運営を委託し、体育施設の適切な管理を確保しつつ、住民サービスの向上に努めた。</p> <p>①河北町民体育館 利用件数 1,177 件(前年度 1,196 件) 利用者数 53,625 人(前年度 50,910 人)</p> <p>②サン・スポーツランド河北町民野球場 利用件数 116 件(前年度 102 件) 利用者数 4,892 人(前年度 5,005 人)</p> <p>③サン・スポーツランド河北町民テニスコート 利用件数 738 件(前年度 645 件) 利用者数 10,287 人(前年度 7,851 人)</p> <p>④河北町野球場 利用件数 68 件(前年度 26 件) 利用者数 550 人(前年度 281 人)</p> <p>⑤遊戯屋内運動場 利用者数 5,955 人(前年度 6,964 人)</p> <p>⑥町民プール 利用者数 31,059 人(前年度 29,685 人)</p> <p>(2) サン・スポーツランド河北野球場グラウンド修繕工事、サン・スポーツランドマグネットスイッチ修繕工事、サン・スポーツランド河北テニスコート外周ネット全面張替え工事、河北町民体育館高圧受電設備改修工事、サン・スポーツランド河北町民テニスコート人工芝張替え工事 No.5-No.8、河北町民体育館電話交換機更新工事、屋内消火栓設備 放水用ホース購入を実施し、利用者の安全確保と利用促進に努めた。</p>
--

5、事業の評価

<p>体育施設の目的である競技スポーツ、生涯スポーツ等がより利用しやすく、また、多くの人に親しんでいただける維持管理に努めたい。</p>
--

6、今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	<p>サン・スポーツランド河北町民テニスコート人工芝張替え工事が終了したことを受けて、利用者増が期待される。また、町民体育館については、大規模改修を見据えて計画的な工事に取り組みたい。</p>

事務事業点検及び評価調書

1、事業名等

事業名	29 スポーツ振興事業
-----	-------------

所管課・係	生涯学習課
	社会体育係

施策体系 教育振興 計画	6 活力ある生涯スポーツの推進
	・ 体育協会、スポーツ少年団活動の支援
	・ 生涯スポーツ活動の情報提供

予算科目	款	10	教育費
	項	5	保健体育費
	目	3	スポーツ振興費

2、事業の概要

事業目的	中学校運動部活動、体育協会加盟団体の生涯スポーツの振興
事業内容	各種スポーツ大会出場激励金、垂れ幕掲示 河北町スポーツ選手育成強化事業補助金、河北町生涯スポーツ振興事業補助金の交付

3、予算額・決算額

(単位：千円)

当初予算額	4,715	補正額等	-337	合計	4,378	決算額	4,160
-------	-------	------	------	----	-------	-----	-------

4、事業の実施状況

(1) 各種大会支援
①町の支援として世界、アジア、全国スポーツ大会出場選手に激励、健闘を祈るため激励金を支給し、本町のスポーツの振興を図った。また、世界的、全国的規模の競技スポーツ大会において、優れた成果を挙げ、本町のスポーツ振興・発展に寄与した個人または団体名を垂れ幕で役場庁舎前に掲示し、広く町民に周知した。 ・ 激励金支給者 小学生 9人、中学生 25人、高校生 11人、一般 3人、合計 48人 (前年度 45人) ・ 垂れ幕掲示本数 世界的規模 2本、全国的規模 18本 合計 20本(前年度 26本)
(2) 中学校運動部活動、体育協会加盟団体の生涯スポーツの振興
①河北中学校のスポーツを振興するため、強化練習会、遠征、選手派遣、研修会、講習会等の選手育成強化事業を行う経費に対して補助金を交付し、河北中学校運動部活動の更なる競技力向上に努めた。 ②日常生活に定着したスポーツ活動を振興するため、強化練習会、大会開催、選手派遣、指導者養成研修会、講習会等の事業を行う経費に対して体育協会に補助金を交付し、生涯スポーツの振興を図った。

5、事業の評価

河北町スポーツ選手育成強化事業補助金、河北町生涯スポーツ振興事業補助金ともに有効活用していただいております。競技力向上に一役買っている。
--

6、今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	激励金支給・垂れ幕掲示は、スポーツ選手の励みになるため引き続き継続して支給していきたい。